

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：令和5年10月～令和6年9月



令和6年12月20日発行

有限会社福重建設

高知県高知市介良甲984番地1

目 次

1. 組織の概要	P. 1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	P. 2～3
3. 環境経営方針	P. 4
4. 環境管理組織体制	P. 5
5. 環境経営活動への取組の全体概要	P. 6
6. 環境経営目標	P. 7
7. 環境経営活動計画	P. 8
8. 環境経営目標の実績	P. 9～14
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価	P. 15～19
10. 次年度の取組内容	
（1）環境経営目標	P. 20
（2）環境経営活動計画	P. 21
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P. 22
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 23

発行日： 令和6年12月20日

発行責任者：環境管理責任者 福重 佳助

次回発行予定： 令和7年12月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社福重建設

【代表者氏名】 代表取締役 福重 明夫

【所在地】

本 社 〒781-5105 高知県高知市介良甲9 8 4 番地 1
南 国 営 業 所 〒783-0084 高知県南国市稲生7 0 1 番地
南国営業所倉庫 〒783-0084 高知県南国市稲生7 0 1 番地

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 専務取締役 福重 佳助
連絡先担当者 営業部長 小松 孝宏
連絡先 TEL: 088-865-8600
FAX: 088-865-0426
E-mail: fukujyu@yellow.plala.or.jp

【事業活動の内容】

建設業 （主にアスファルト舗装等の工事を行っています。）

建設業許可

許 可 番 号 高知県知事 許可（特-4）第1131号

許 可 年 月 日 令和4年11月30日

建 設 業 の 種 類 土木工事業 舗装工事業

建設業許可

許 可 番 号 高知県知事 許可（般-4）第1131号

許 可 年 月 日 令和4年11月30日

建 設 業 の 種 類 とび土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業 しゅんせつ工事業
塗装工事業 造園工事業 水道施設工事業

産業廃棄物収集運搬業許可

許 可 番 号 03900057479

許 可 年 月 日 令和3年9月17日 許 可 有 効 期 限 令和8年9月16日

事 業 区 分 収集・運搬（積替え又は保管を除く）

収集運搬する 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
廃棄物の種類 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

運搬車両の台数 ダンプトラック(3t) 7台 収 集 運 搬 量 ・ 内 訳（がれき類）405.03 t 年

【事業規模】

設 立 年 月 日 昭和45年2月1日

資 本 金 2,000万円

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
決 算 期	H30. 10. 1 ～ R1. 9. 30	R1. 10. 1 ～ R2. 9. 30	R2. 10. 1 ～ R3. 9. 30	R3. 10. 1 ～ R4. 9. 30	R4. 10. 1 ～ R5. 9. 30	R5. 10. 1 ～ R6. 9. 30
完成工事高(千円)	436, 578	377, 395	414, 474	549, 745	321, 753	528, 023
従業員数（名）	21	20	20	18	18	18
事業所延床面積						
本社	100m2	100m2	100m2	100m2	100m2	100m2
南国営業所	150m2	150m2	150m2	150m2	150m2	150m2
本社倉庫	100m2	100m2	100m2	100m2	100m2	100m2
南国営業所倉庫	280m2	280m2	280m2	280m2	280m2	280m2

従業員数は、令和6年9月30日現在
会計年度 10月～9月

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社福重建設 全社

本 社 〒781-5105 高知県高知市介良甲 9 8 4 番地 1

南 国 営 業 所 〒783-0084 高知県南国市稲生 7 0 1 番地

南国営業所倉庫 〒783-0084 高知県南国市稲生 7 0 1 番地

対 象 事 業 土木工事業 舗装工事業 産業廃棄物収集運搬業

【レポートの対象期間】

令和5年10月～令和6年9月

【環境経営レポートの発行日】

令和6年12月20日発行

【作成責任者】 環境管理責任者 福重 佳助

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

環境経営理念

有限会社福重建設は高知県内全域を対象に事業活動を行っている企業として、建設工事の事業活動を通じて社会貢献を目指すとともに、地域の環境保全に向け全社一丸となり自主的、積極的に環境負荷の低減に取り組み、継続的改善による環境経営を推進していきます。

環境経営方針

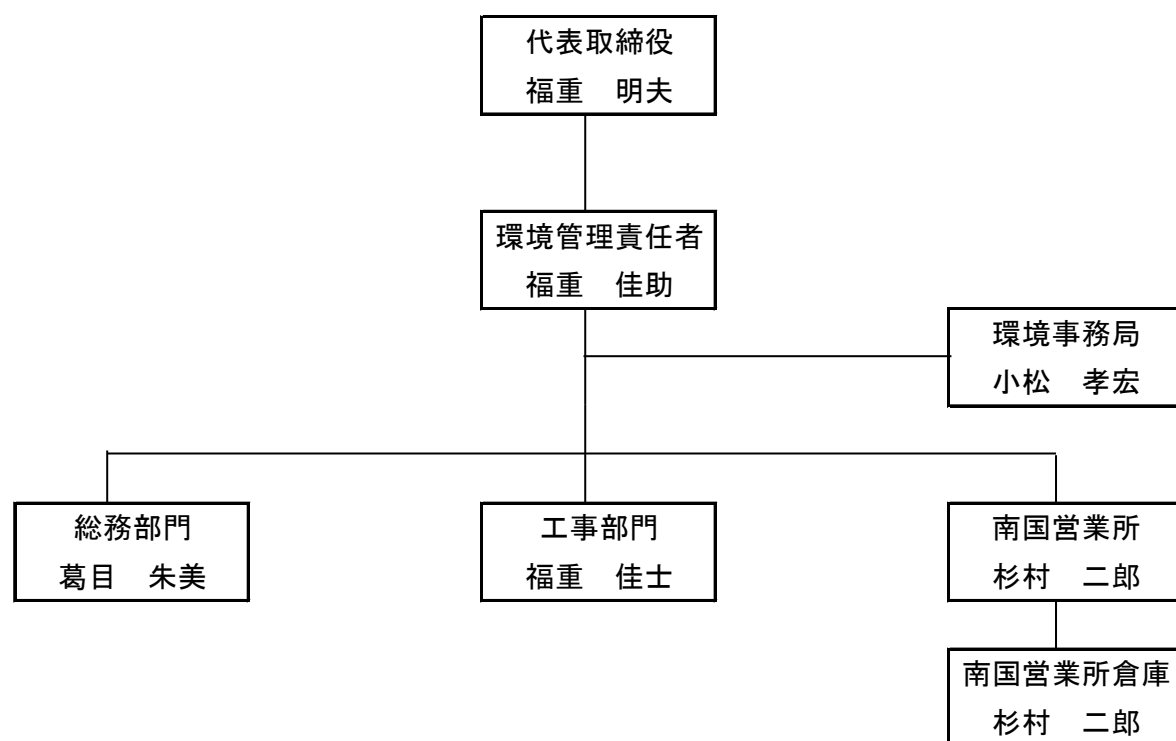
- 1 環境関連法規及び条例等を遵守します。
- 2 建設機械、一般車輛等の燃料使用量を削減し、二酸化炭素の排出量を削減します。
- 3 電力使用量を削減し、二酸化炭素の排出量を削減します。
- 4 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルを促進します。
- 5 水使用量を削減し、排水量を削減します。
- 6 建設工事における騒音、振動の低減、防塵対策を図ります。
- 7 環境にやさしい資材の使用促進、環境に配慮した施工に取り組みます。
- 8 環境経営方針を全従業員へ周知します。
- 9 環境経営レポートを作成し、公表します。
- 10 社会貢献活動を積極的に行います。

制定日	平成28年6月27日
改定日	平成30年10月1日
改定日	令和3年2月1日

有限会社福重建設

代表取締役 福重 明夫

4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション2.1ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 燃料使用量について目標値に対しガソリン84%軽油81%、LPG63%と目標値の達成ができた。
今後も目標達成に向けて取り組んでいく。
- 産業廃棄物については目標値に対し54%で目標値達成できた。
産業廃棄物は環境法規等遵守し適正に処理を行い再資源化した。
- 電力使用量は目標値に対し92%で目標達成できた。
目標値22,700kwhを本年度から20,000kwhとし、令和8年度まで目標値の見直しを行っているので引き続き達成できるよう取り組んでいく。
- 水使用量に関しては目標値に対し96%で目標値達成ができた。
散水用の水を現地調達できる現場が比較的あり散水できた事で目標値が達成できた。
- 一般廃棄物については目標値の74%と達成できている。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（10回）、近隣の清掃活動（1回）実施しております。



<有限会社福重建設 の物質フロー>（令和5年度）



6. 環境経営目標

（１）単年度目標（令和5年10月 ～ 令和6年9月）

項目	総量・原単位	単位	基準年 平成28年度	令和5年度 目標
			H28.10.1～H29.9.30	R5.10.1～R6.9.30
売上高		百万円	386	380
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,711	14,900
	原単位	(ℓ/百万円)	40.70	39.21
軽油使用量	総量	(ℓ)	45,131	44,200
	原単位	(ℓ/百万円)	116.92	116.32
L P G使用量	総量	(kg)	2,495	2,360
	原単位	(kg/百万円)	6.46	6.21
電力使用量	総量	(kWh)	23,708	20,000
	原単位	(kWh/百万円)	61.42	52.63
C O ₂ 排出量	総量	(kg－CO ₂)	172,890	166,244
	原単位	(kg－CO ₂ /百万円)	447.90	437.48
水使用量	総量	(m ³)	371	352
	原単位	(m3/百万円)	0.96	0.93
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	272	262
	原単位	(kg/百万円)	0.70	0.69
産業廃棄物排出量	総量	(t)	5,810	5,620
	原単位	(t/百万円)	15.05	14.79
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100.00	99.90
環境配慮工事	総量	(件)	221/221	全件
環境美化活動	総量	(回)	11	11

基準年度を平成26年度から平成28年度に見直し目標値を作成した

- * 1. 電力のC O₂ 発生量については、電気事業者別のC O₂ 排出係数（平成30年度実績）
（令和2年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg－C O₂ ／kWh）を使用した。
- * 2. 環境配慮工事
 - 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用

（２）中長期目標

項目	総量・原単位	単位	平成28年度 実績（基準年）	令和6年度 目標	令和7年度 目標	令和8年度 目標
売上高		百万円	386	380	380	380
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,711	14,850	14,800	14,750
	原単位	(ℓ/百万円)	40.70	39.08	38.95	38.82
軽油使用量	総量	(ℓ)	45,131	44,050	43,900	43,750
	原単位	(ℓ/百万円)	116.92	115.92	115.53	115.13
L P G使用量	総量	(kg)	2,495	2,340	2,320	2,300
	原単位	(kg/百万円)	6.46	6.16	6.11	6.05
電力使用量	総量	(kWh)	23,708	19,850	19,700	19,550
	原単位	(kWh/百万円)	61.42	52.24	51.84	51.45
C O ₂ 排出量	総量	(kg－CO ₂)	172,890	165,602	164,960	164,317
	原単位	(kg－CO ₂ /百万円)	447.90	435.79	434.10	432.41
水使用量	総量	(m ³)	371	348	344	340
	原単位	(m3/百万円)	0.96	0.92	0.91	0.89
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	272	258	254	250
	原単位	(kg/百万円)	0.70	0.68	0.67	0.66
産業廃棄物排出量	総量	(t)	5,810	5,580	5,540	5,500
	原単位	(t/百万円)	15.05	14.68	14.58	14.47
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100.00	99.90	99.90	99.90
環境配慮工事	総量	(件)	221/221	全件	全件	全件
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	11

7. 環境経営活動計画 (令和5年度)

期間： 令和5年10月 ～ 令和6年9月

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○現場への車両乗合を励行する	福重 佳助
		○急発進、急ブレーキをしない安全運転の励行	
		○作業規模に応じた建設機械の選定	杉村 二郎
		○時間帯、距離、順路等計画的な移動を心掛ける	
		○車両、建設機械のアイドリングストップ	
	電力使用量 削減	○不要な照明の消灯を徹底	葛目 朱美
		○クールビズ、ウォームビズを励行	
		○節電ステッカーを貼り注意喚起	
		○空調の適温化を徹底する (冷房28℃程度、暖房20℃程度)	
用水使用量削減 (排水量削減)		○車両の洗車を必要最小限に留め、節水を励行する	小松 孝宏
		○舗装工事の舗設で使用する散水はできる限り 用水路などの水を利用する	
		○節水の徹底、漏水の定期点検	
廃棄物削減	一般廃棄物	○両面、集約など機能を活用した印刷及びコピー を徹底する	小松 孝宏
		○できる限りの帳票類、書類など紙ベースを見直し 文書類の電子化に取り組む	
		○ごみの分別を徹底する	
		○コピー用紙の裏紙再利用の徹底	
	産業廃棄物	○運搬・処分委託契約書を必ず交わす	福重 佳助
		○処分場の許可、現地の状況を確認する	
		○マニフェスト伝票の管理、保管、 適正処理の確認	
		○発生した廃棄物は産業廃棄物再資源化業者に できるだけ委託する	
		○再生資材の利用促進	
		○施工時における資材ロスの低減に努める	
環境配慮工事		○型枠、工事看板への間伐材使用	福重 佳士
		○低騒音、排出ガス対策型機械の併用	
		○環境に配慮した技術の導入、提案、負荷が 少ない材料の使用を推進し、現場施工に努める	
環境美化活動		○ ロードボランティアに活動に参加	福重 佳助
		○ 事務所、現場周辺の清掃活動	

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 平成28年度 H28.10.1-H29.9.30	令和5年度 目標 R5.10.1～R6.9.30	令和5年度 実績 R5.10.1～R6.9.30	実績値／目標値 (%)	評価
売上高		百万円	386	380	528		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,711	14,900	12,534	84%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	40.70	39.21	23.74	61%	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	45,131	44,200	35,775	81%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	116.92	116.32	67.76	58%	○
LPG使用量	総量	(kg)	2,495	2,360	1,488	63%	○
	原単位	(kg/百万円)	6.46	6.21	2.82	45%	○
電力使用量	総量	(kWh)	23,708	20,000	18,417	92%	○
	原単位	(kWh/百万円)	61.42	52.63	34.88	66%	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	172,890	166,244	135,449	81%	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	447.90	437.48	256.53	59%	○
水使用量	総量	(m ³)	371	352	339	96%	○
	原単位	(m3/百万円)	0.96	0.93	0.64	69%	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	272	262	195	74%	○
	原単位	(kg/百万円)	0.70	0.69	0.37	54%	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	5,810	5,620	3,015	54%	○
	原単位	(t/百万円)	15.05	14.79	5.71	39%	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100.00	99.90	99.91	100.01%	○
環境配慮工事	総量	(件)	221/221	全件	191/191	100%	○
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	100%	○

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（平成30年度実績）
（令和2年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg-CO₂ / kWh）を使用した。
- * 2. 環境配慮工事
○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
○低騒音、排出ガス対策型重機の使用
○型枠、工事看板への間伐材の使用
- * 3. 評価は、「○」：十分に達成、「△」：達成までに今一步、「×」：目標達成に遠く及ばず、で評価する。
ガソリン使用量、軽油使用量、LPG使用量、電力使用量、CO₂ 排出量、水使用量、一般廃棄物排出量、産業廃棄物排出量
総量 ○：105%以上 △：106以上～115%以下 ×：116%以上
産業廃棄物再資源化率、環境配慮工事、環境美化活動
総量 ○：95%以上 △：85以上～94%以下 ×：84%以下

＜環境経営目標未達成等理由＞

完成工事高は528百万円と基準年と比較して136%増、施工件数は86%の数値となった。

元請工事、下請工事ともに比較的請負金額の高い現場が多かった事が基準年、昨期と比較して完成工事高増加の要因となった。

環境経営目標については上記(1)記載の産業廃棄物再資源化率が0.01%ではあるが目標値を上回った事で全ての目標値が達成できた。

達成できた要因としては、施工場所が高知市内とその周辺市町村で本社、南国営業所付近が多く移動距離が短かった。

施工内容はアスファルト打換え工よりもアスファルト切削（外注）とオーバーレイ工の現場多く、アスファルト新設工事の現場もあった事でガソリン、軽油、LPG、の使用量が目標達成でき、それに伴いCO₂の排出量も達成できた。

一般廃棄物、産業廃棄物排出量については総量、原単位ともに達成できている。

昨期達成に至らなかった産業廃棄物再資源化率については最終処分が昨期（4310kg）今期（2570kg）と減少した事と総排出量が昨期（2260530kg）今期（3014660kg）と増加した事で総発生量に対し最終処分発生量が少なかった為達成できた。

水使用量については完成工事高の増加に伴い舗装面積も増加したが散水用の水を現地調達でる現場が例年よりあったので昨期と比較しても水使用量は減少し目標達成できた。

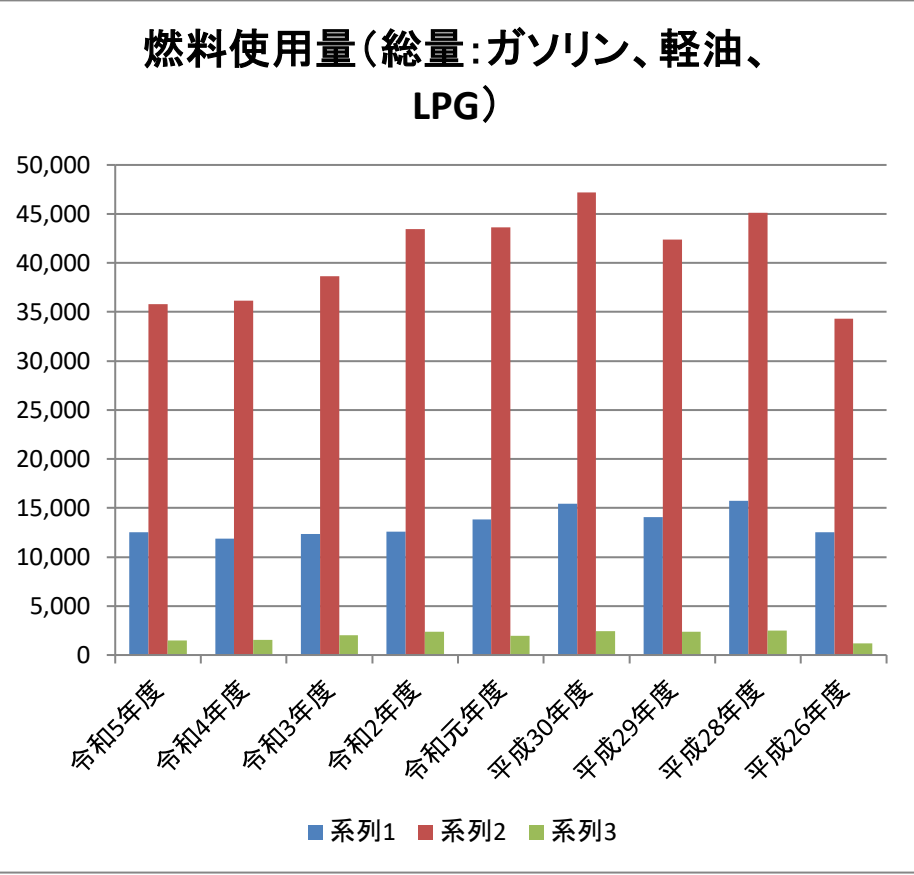
電力使用量に関しては昨期よりも一層酷暑で長期に渡り暑さが長引いた事もありエアコン使用時間も長くなり電気使用量も増加したが日頃からの節電意識が徹底できている事もあり効果的に節電出来た為目標達成できた。

＜過去の実績＞

項目	総量・原単位	単位	基準年 平成26年度	令和2年度 実績	基準年 平成28年度	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績
売上高		百万円	367	414	386	549	321	528
燃料使用量								
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,540	12,608	15,711	12,325	11,891	12,534
	原単位	(ℓ/百万円)	34.17	30.45	40.70	22.45	37.04	23.74
軽油使用量	総量	(ℓ)	34,316	43,444	45,131	38,638	36,152	35,775
	原単位	(ℓ/百万円)	93.50	104.94	116.92	70.38	112.62	67.76
L P G使用量	総量	(k g)	1,210	2,371	2,495	2,021	1,536	1,488
	原単位	(k g/百万円)	3.30	5.73	6.46	3.68	4.78	2.82
電力使用量	総量	(k W h)	23,049	16,547	23,708	18,429	17,903	18,417
	原単位	(k W h/百万円)	62.80	39.97	61.42	33.57	55.77	34.88
C O ₂ 排出量	総量	(k g－C O ₂)	133,427	157,186	172,890	144,075	134,919	135,449
	原単位	(k g－C O ₂ /百万円)	363.56	379.68	447.90	262.43	420.31	256.53
水使用量	総量	(m ³)	337	345	371	327	379	339
	原単位	(m ³ /百万円)	0.92	0.83	0.96	0.60	1.18	0.64
一般廃棄物排出量	総量	(k g)	264	200	272	212	196	195
	原単位	(k g/百万円)	0.72	0.48	0.70	0.39	0.61	0.37
産業廃棄物排出量	総量	(t)	4,266	3,926	5,810	2,869	2,261	3,015
	原単位	(t/百万円)	11.62	9.48	15.05	5.23	7.04	5.71
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.94	99.98	100.00	99.97	99.80	99.91
環境配慮工事	総量	(件)	213/213	195/195	221/221	226/226	189/189	191/191
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	11	11	11

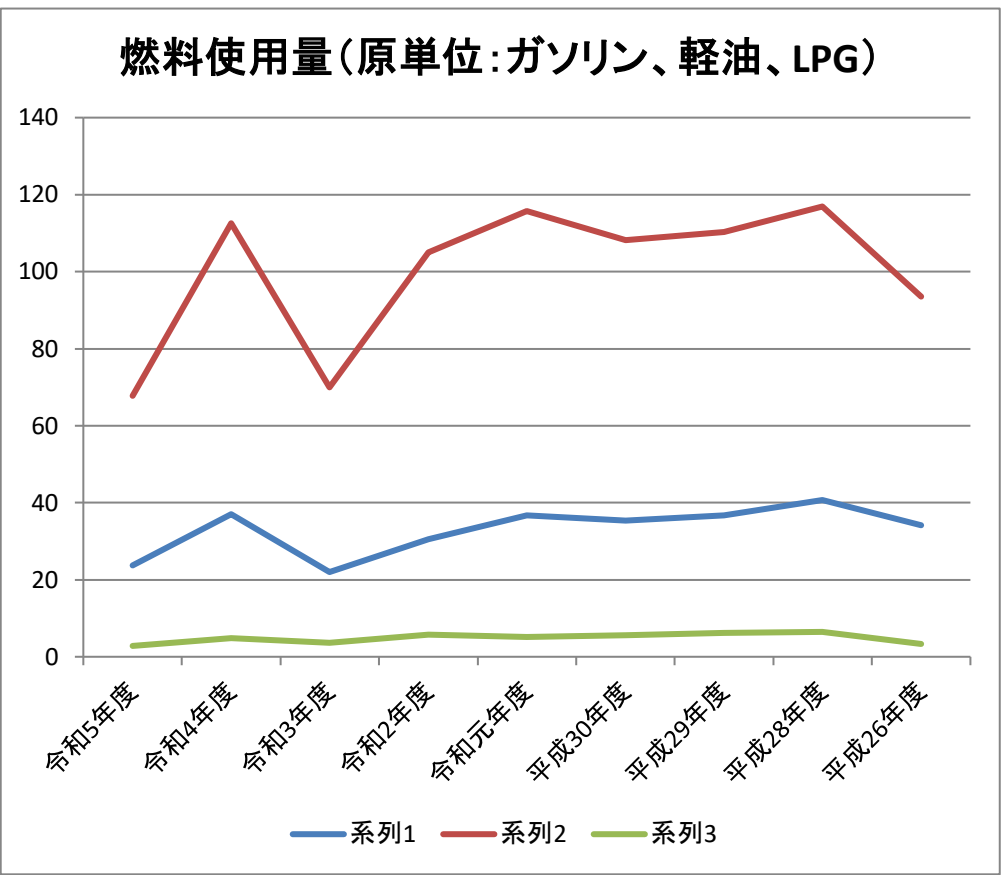
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、LPG）
単位:ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	LPG (k g／年)
令和5年度	12,534	35,775	1,488
令和4年度	11,891	36,152	1,536
令和3年度	12,325	38,638	2,021
令和2年度	12,608	43,444	2,371
令和元年度	13,833	43,624	1,946
平成30年度	15,423	47,199	2,453
平成29年度	14,075	42,365	2,356
平成28年度	15,711	45,131	2,495
平成26年度	12,540	34,316	1,210



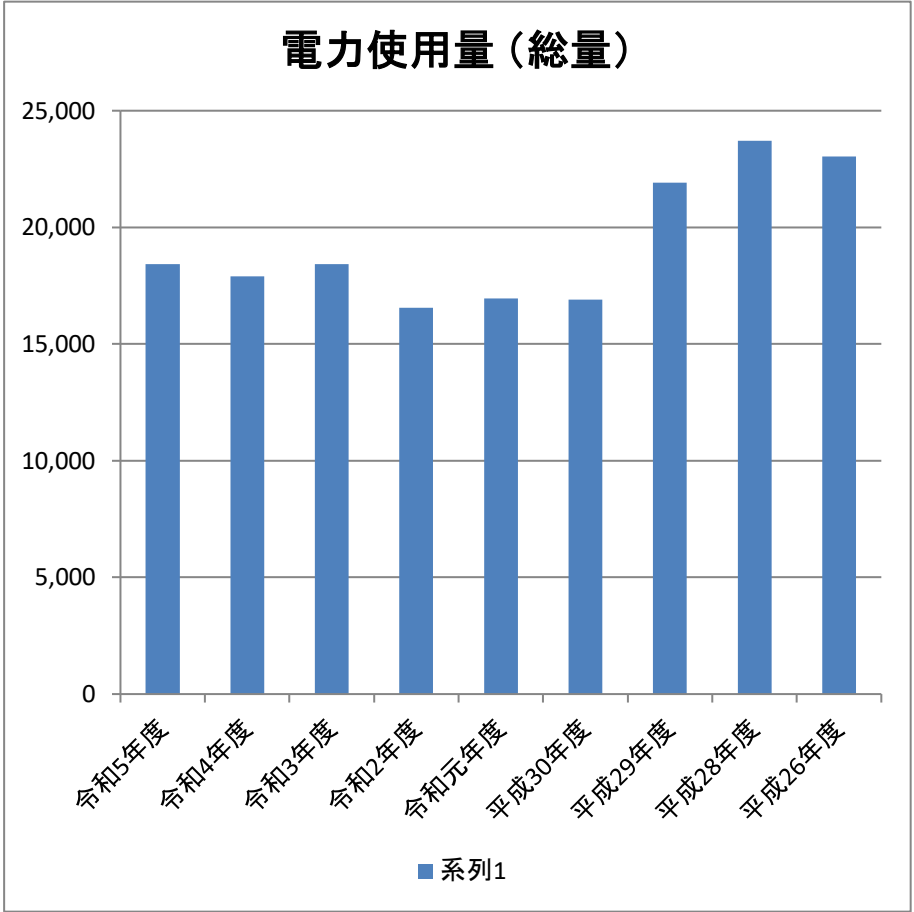
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位:ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ/百万円)	軽油 (ℓ/百万円)	LPG (kg/百万円)
令和5年度	24	68	2.8
令和4年度	37	113	4.8
令和3年度	22	70	3.7
令和2年度	30	105	5.7
令和元年度	37	116	5.2
平成30年度	35	108	5.6
平成29年度	37	110	6.1
平成28年度	41	117	6.5
平成26年度	34	94	3.3



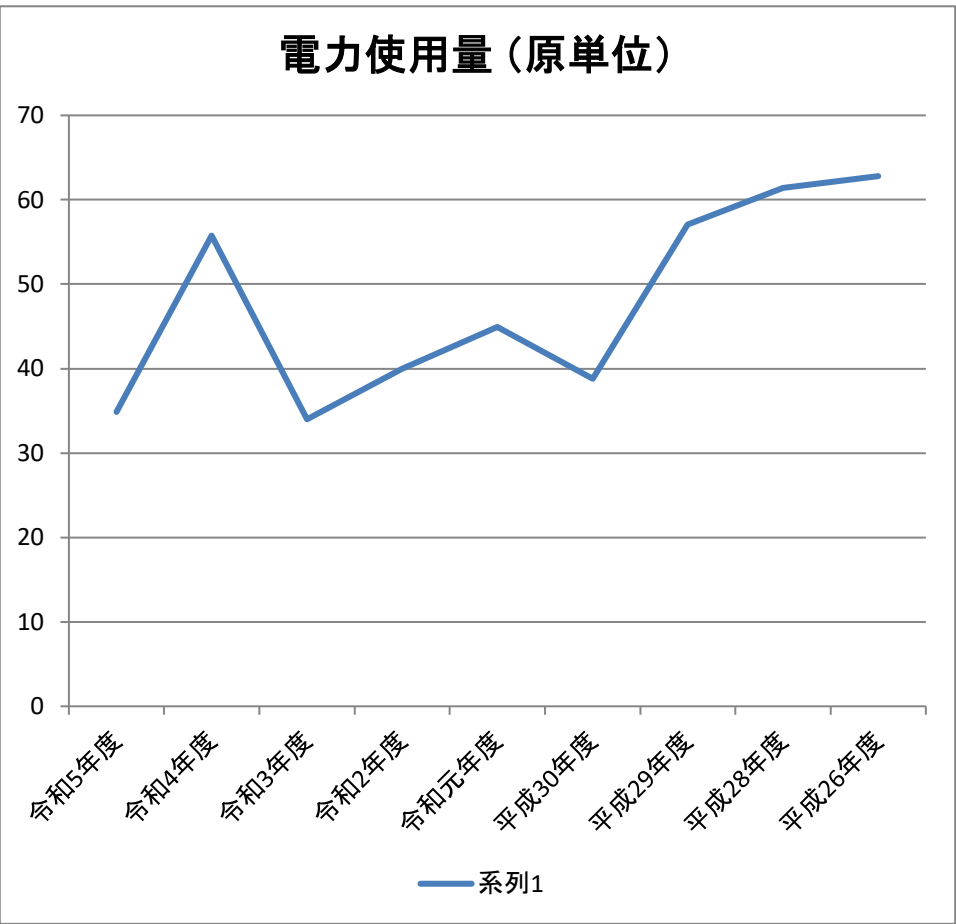
電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
令和5年度	18,417
令和4年度	17,903
令和3年度	18,429
令和2年度	16,547
令和元年度	16,951
平成30年度	16,907
平成29年度	21,914
平成28年度	23,708
平成26年度	23,049



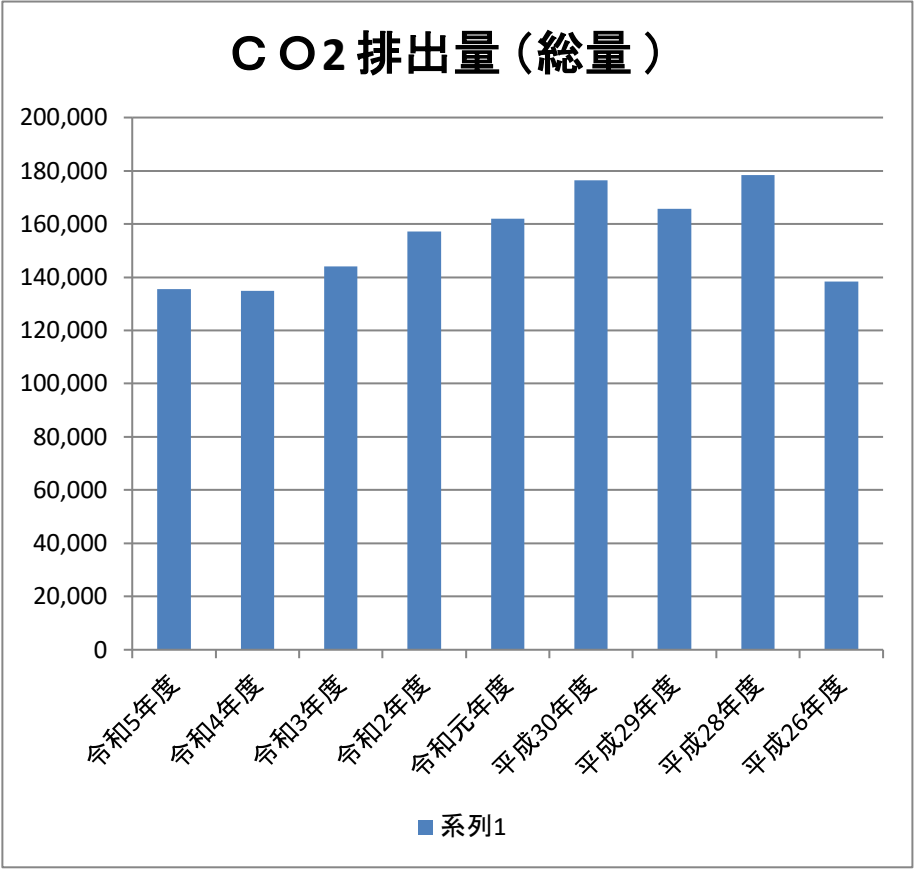
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
令和5年度	35
令和4年度	56
令和3年度	34
令和2年度	40
令和元年度	45
平成30年度	39
平成29年度	57
平成28年度	61
平成26年度	63



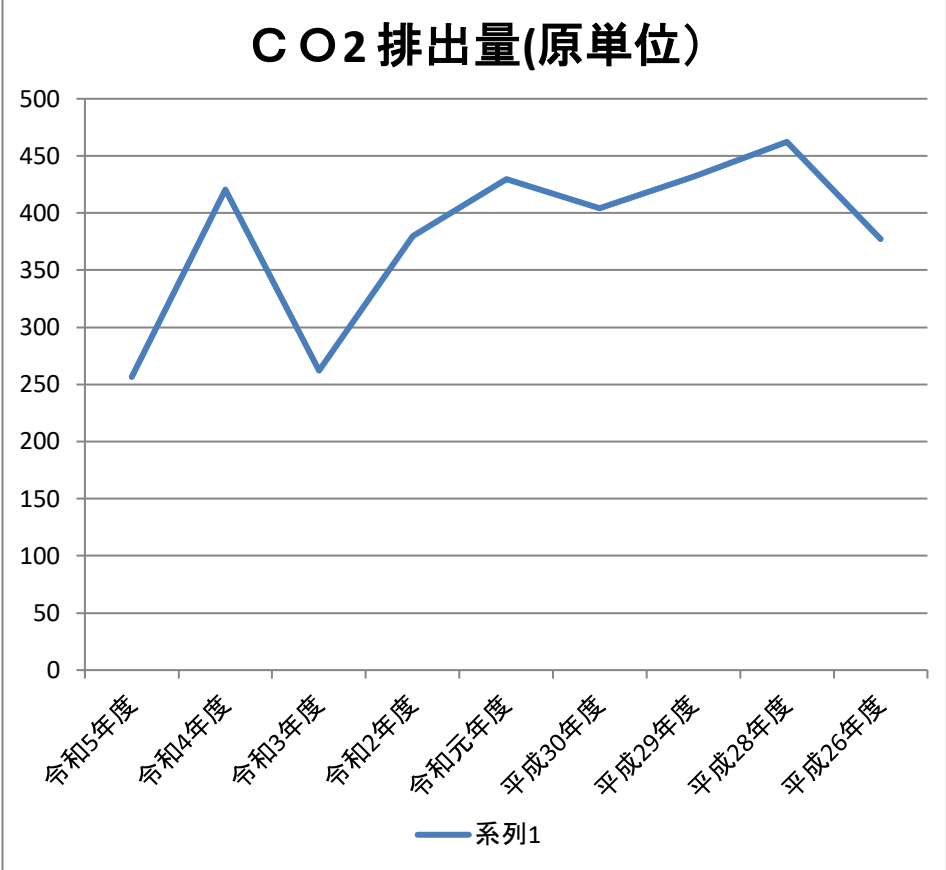
CO₂ 排出量（総量：（kg－CO₂）

年度	CO ₂ 排出量 (kg－CO ₂)
令和5年度	135,449
令和4年度	134,919
令和3年度	144,075
令和2年度	157,186
令和元年度	161,937
平成30年度	176,343
平成29年度	165,744
平成28年度	178,434
平成26年度	138,385



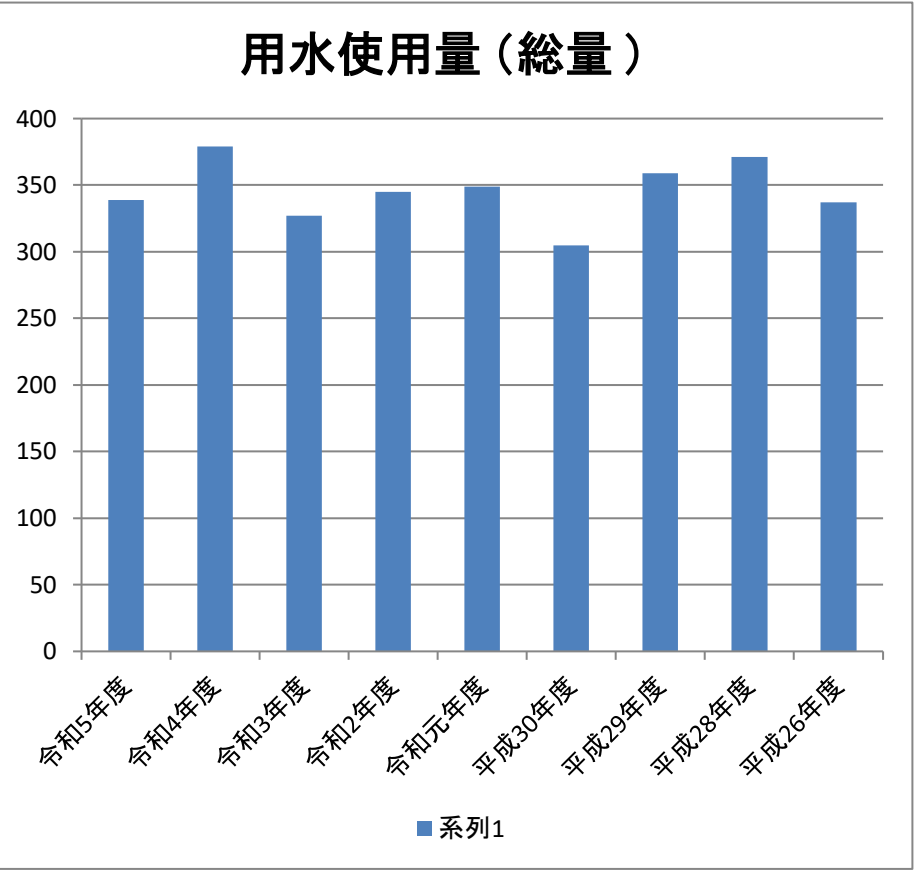
CO₂ 排出量（原単位：kg－CO₂/百万円）

年度	CO ₂ 排出量 (kg－CO ₂ /百万円)
令和5年度	257
令和4年度	420
令和3年度	262
令和2年度	380
令和元年度	430
平成30年度	404
平成29年度	432
平成28年度	462
平成26年度	377



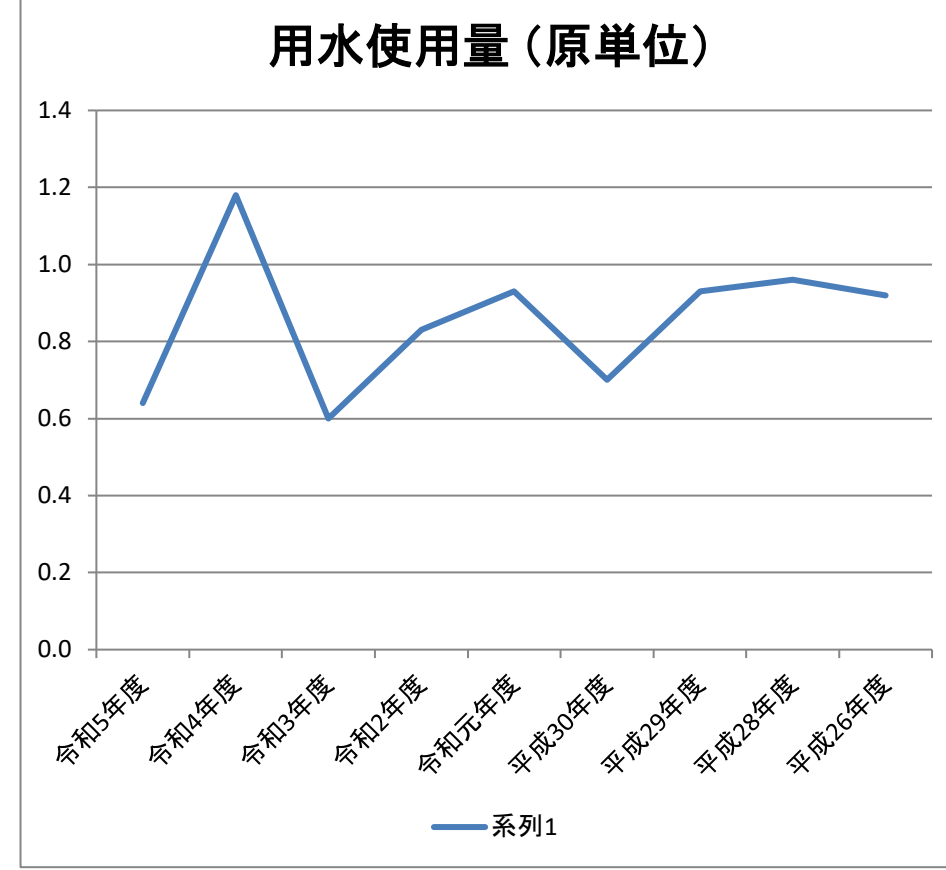
用水使用量（総量：m³）

年度	用水使用量 (m ³)
令和5年度	339
令和4年度	379
令和3年度	327
令和2年度	345
令和元年度	349
平成30年度	305
平成29年度	359
平成28年度	371
平成26年度	337



用水使用量（原単位：m³/百万円）

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
令和5年度	0.6
令和4年度	1.2
令和3年度	0.6
令和2年度	0.8
令和元年度	0.9
平成30年度	0.7
平成29年度	0.93
平成28年度	0.96
平成26年度	0.92



廃棄物排出量（総量：一般廃棄物、産業廃棄物）

単位：一般廃棄物 kg／年

単位：産業廃棄物 t／年

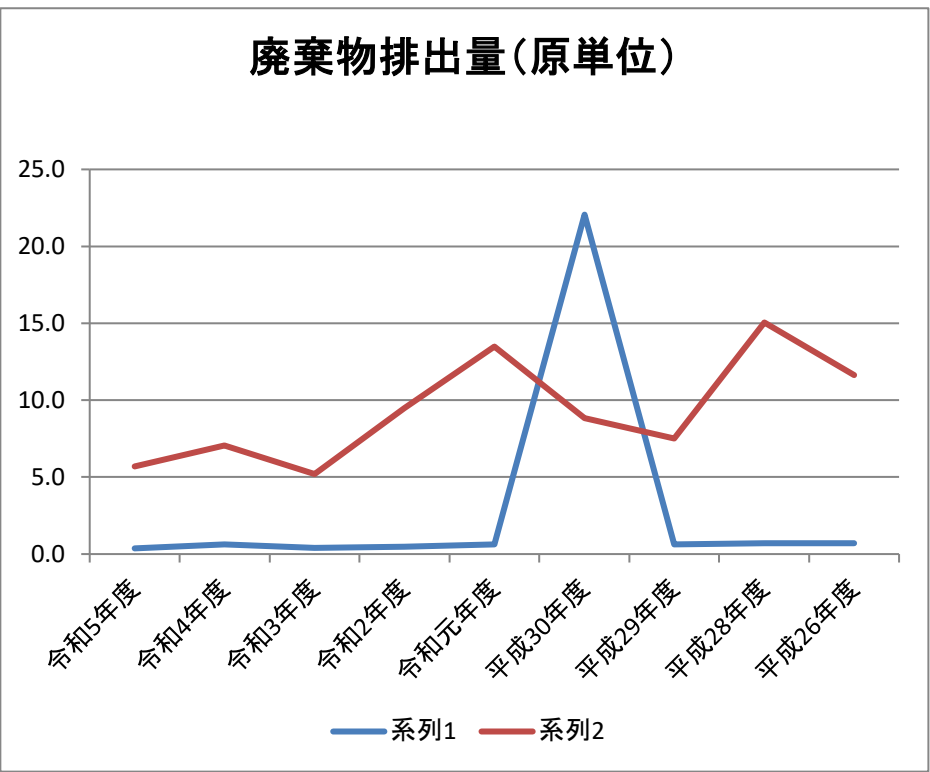
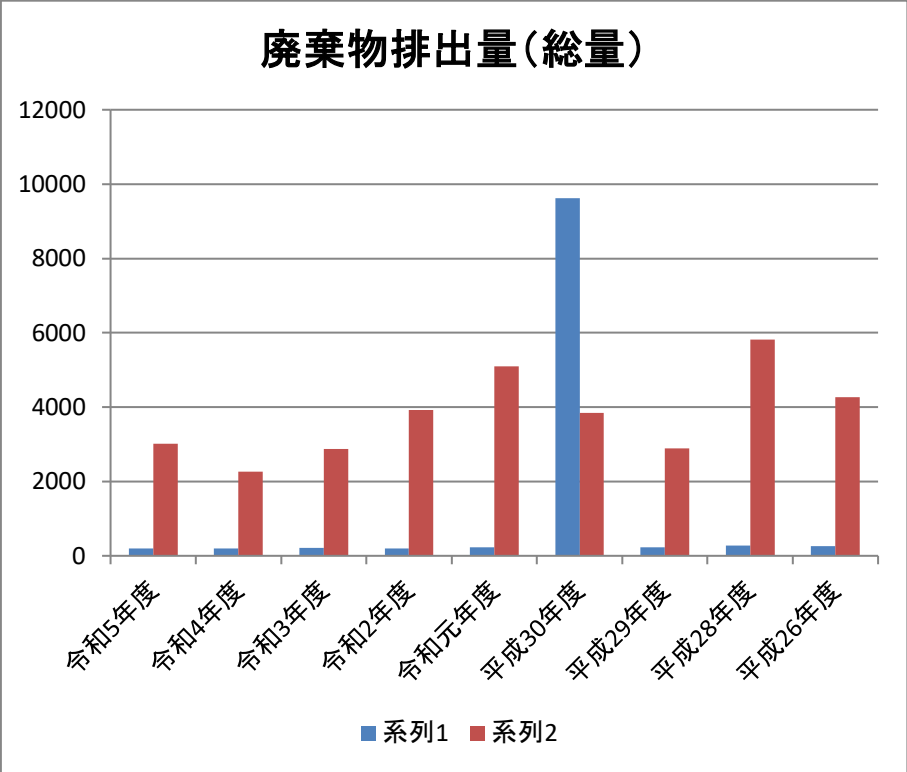
廃棄物排出量（原単位：一般廃棄物、産業廃棄物）

単位：一般廃棄物 kg／百万円

単位：産業廃棄物 t／百万円

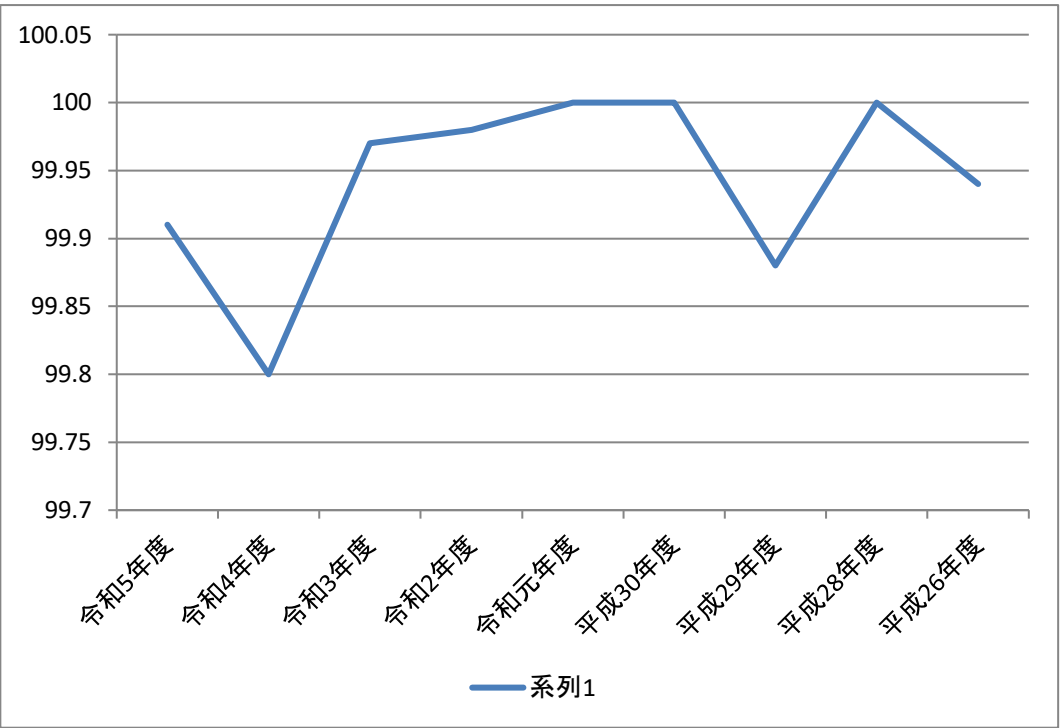
年度	一般廃棄物 kg／年	産業廃棄物 t／年
令和5年度	195	3015
令和4年度	196	2261
令和3年度	212	2869
令和2年度	200	3926
令和元年度	234	5090
平成30年度	9619	3851
平成29年度	234	2885
平成28年度	272	5810
平成26年度	264	4266

年度	一般廃棄物 kg／百万円	産業廃棄物 t／百万円
令和5年度	0.4	5.7
令和4年度	0.6	7.0
令和3年度	0.4	5.2
令和2年度	0.5	9.5
令和元年度	0.6	13.5
平成30年度	22.06	8.8
平成29年度	0.61	7.5
平成28年度	0.7	15.05
平成26年度	0.72	11.6



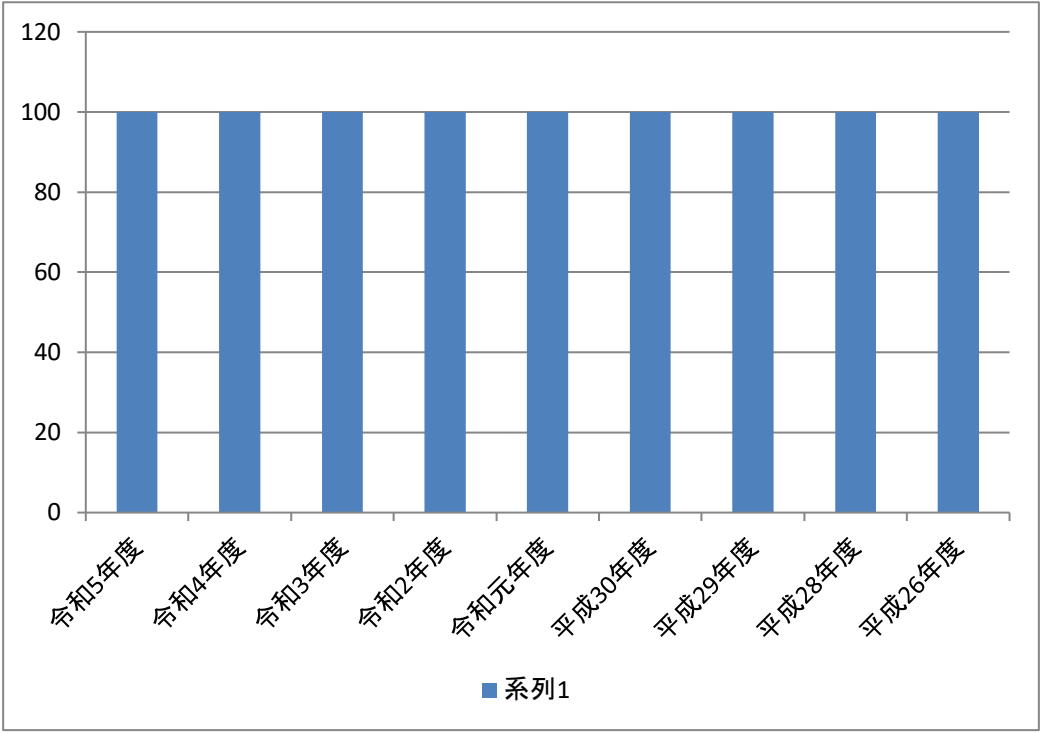
産業廃棄物再資源化率（％）

年度	産業廃棄物 再資源化率 （％）
令和5年度	99.91
令和4年度	99.8
令和3年度	99.97
令和2年度	99.98
令和元年度	100
平成30年度	100
平成29年度	99.88
平成28年度	100
平成26年度	99.94



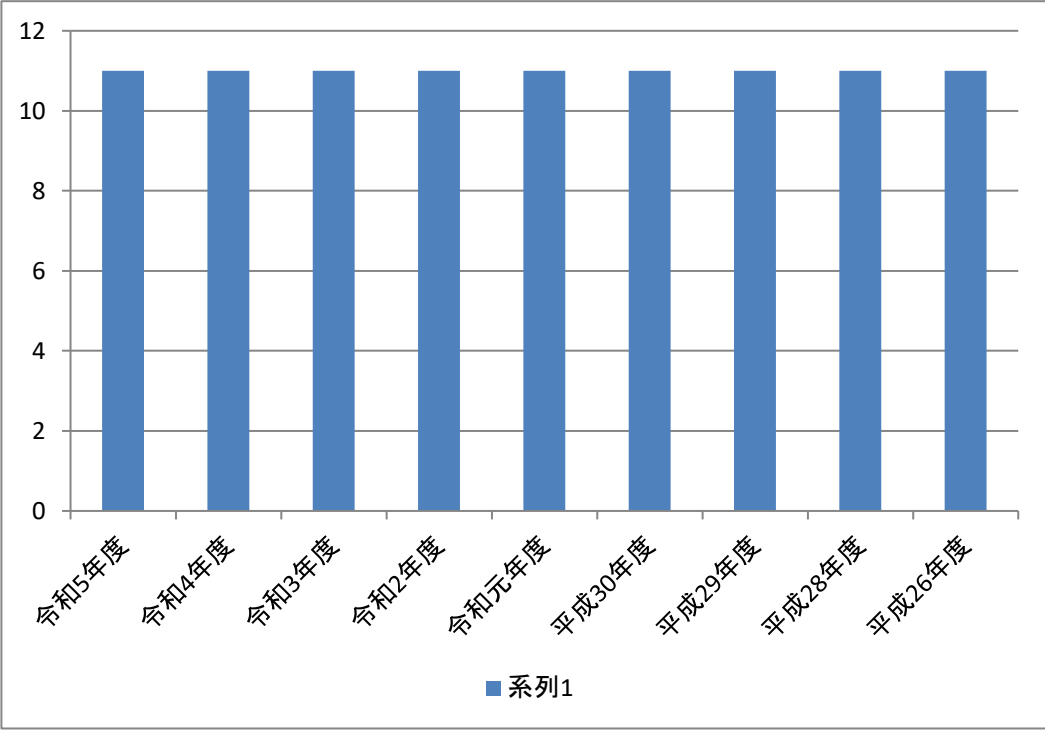
環境配慮工事(%)

年度	環境配慮工事 (%)
令和5年度	100
令和4年度	100
令和3年度	100
令和2年度	100
令和元年度	100
平成30年度	100
平成29年度	100
平成28年度	100
平成26年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
令和5年度	11
令和4年度	11
令和3年度	11
令和2年度	11
令和元年度	11
平成30年度	11
平成29年度	11
平成28年度	11
平成26年度	11



9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価

期間： 令和5年10月 ～ 令和6年9月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
C O ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○現場への車両乗合を励行する	実施できている	○	今後も継続
		○急発進、急ブレーキをしない安全運転の励行	実施できている	○	今後も継続
		○作業規模に応じた建設機械の選定	実施できている	○	今後も継続
		○時間帯、距離、順路等計画的な移動を心掛ける	実施できている	○	今後も継続
		○車両、建設機械のアイドリングストップ	実施できている	○	今後も継続
	電力使用量削減	○不要な照明の消灯を徹底	実施できている	○	今後も継続
		○クールビズ、ウォームビズを励行	実施できている	○	今後も継続
		○節電ステッカーを貼り注意喚起	実施できている	○	今後も継続
		○空調の適温化を徹底する (冷房28℃程度、暖房20℃程度)	実施できている	○	今後も継続
用水使用量削減 (排水量削減)		○車両の洗車を必要最小限に留め、節水を励行する	実施できている	○	今後も継続
		○舗装工事の舗設で使用する散水はできる限り 用水路などの水を利用する	実施できている	○	今後も継続
		○節水の徹底、漏水の定期点検	実施できている	○	今後も継続
廃棄物削減	一般廃棄物	○両面、集約など機能を活用した印刷及びコピーを徹底する	実施できている	○	今後も継続
		○できる限りの帳票類、書類など紙ベースを見直し 文書類の電子化に取り組む	実施できている	○	今後も継続
		○ごみの分別を徹底する	実施できている	○	今後も継続
		○コピー用紙の裏紙再利用の徹底	実施できている	○	今後も継続
	産業廃棄物	○運搬・処分委託契約書を必ず交わす	実施できている	○	今後も継続
		○処分場の許可、現地の状況を確認する	実施できている	○	今後も継続
		○マニフェスト伝票の管理、保管、 適正処理の確認	実施できている	○	今後も継続
		○発生した廃棄物は産業廃棄物再資源化業者に できるだけ委託する	実施できている	○	今後も継続
		○再生資材の利用促進	実施できている	○	今後も継続
		○施工時における資材ロスの低減に努める	実施できている	○	今後も継続
環境配慮工事		○型枠、工事看板への間伐材使用	実施できている	○	今後も継続
		○低騒音、排出ガス対策型機械の併用	実施できている	○	今後も継続
		○環境に配慮した技術の導入、提案、負荷が 少ない材料の使用を推進し、現場施工に努める	実施できている	○	今後も継続
環境美化活動		○ ロードボランティアに活動に参加	実施できている	○	今後も継続
		○ 事務所、現場周辺の清掃活動	実施できている	○	今後も継続

○：よくできている △：不十分である ×：できていない

評価の方法： 評価は毎月実施するエコアクション21社内会議で取組を確認しその結果により実施した。

具体的な取組状況

1. 電力消費量削減 ECO運転エアコン令和3年設置



節電ステッカー貼付
(平成28年6月設置)

(令和元年全LED化設置完了)



2. 用水使用量の削減



節水ステッカー貼付
(平成28年6月設置)

3. 環境美化活動

ロードボランティア活動



毎年、事務所周辺及び県道土居五台山線、
県道仁井田竹中号線のロードボランティア(年11回)
活動を行い、道路の清掃活動を行っています。

4. 低騒音・排出ガス対策型機械の使用

振動ローラ TW354 2.7t 排ガス・低騒音対策型



アスファルトフィニッシャー F1741 1.7~4.1m 排ガス・低騒音対策型



モータグレーダ GD405 ブレード3.1m ディーゼル排気ガス浄化装置 超低騒音車



振動ローラ TW354 2.7t 排ガス・低騒音対策型



5. 環境配慮工事

工事番号： 道交地防安（修繕）第9108-142-1号
工事名： 県道土佐山田野市線防災・安全交付金工事
工期： 令和6年3月16日～令和6年8月17日

低騒音、排出ガス対策型重機の使用



超低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。
工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。

環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用



表層に再生アスファルト（再生密粒度アスファルトTOP13）を使用し、環境負荷低減に努めました。

工事看板への高知県産間伐材の使用



工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減にに努めました。

完成写真



再生密粒アスファルト(13) 268t
施工面積 A=2130m2

工事番号： 道交対第609-381-13号
工事名： 国道381号道路交通安全対策工事
工期： 令和5年7月12日～令和5年12月3日

低騒音、排出ガス対策型重機の使用



超低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。
工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。

環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用



表層に再生アスファルト（再生密粒度アスファルトTOP13）を使用し、環境負荷低減に努めました。

工事看板への高知県産間伐材の使用



工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減にに努めました。

完成写真



再生密粒アスファルト(13) 298t

施工面積 A=1351m²

10. 次年度の取組内容

(1) 単年度目標 (令和6年10月 ～ 令和7年9月)

項目	総量・原単位	単位	基準年 平成28年度	令和6年度 目標
			H28.10.1～H29.9.30	R6.10.1～R7.9.30
売上高		百万円	386	380
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,711	14,850
	原単位	(ℓ/百万円)	40.70	39.08
軽油使用量	総量	(ℓ)	45,131	44,050
	原単位	(ℓ/百万円)	116.92	115.92
LPG使用量	総量	(kg)	2,495	2,340
	原単位	(kg/百万円)	6.46	6.16
電力使用量	総量	(kWh)	23,708	19,850
	原単位	(kWh/百万円)	61.42	52.24
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	172,890	165,602
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	447.90	435.79
水使用量	総量	(m ³)	371	348
	原単位	(m ³ /百万円)	0.96	0.92
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	272	258
	原単位	(kg/百万円)	0.70	0.68
産業廃棄物排出量	総量	(t)	5,810	5,580
	原単位	(t/百万円)	15.05	14.68
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100.00	99.90
環境配慮工事	総量	(件)	221/221	全件
環境美化活動	総量	(回)	11	11

基準年度を平成26年度から平成28年度に見直し目標値を作成した

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（平成30年度実績）
（令和2年1月7日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg-CO₂ / kWh）を使用した。
- * 2. 環境配慮工事
- 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	平成28年度 実績（基準年）	令和7年度 目標	令和8年度 目標	令和9年度 目標
売上高		百万円	386	380	380	380
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	15,711	14,800	14,750	14,700
	原単位	(ℓ/百万円)	40.70	38.95	38.82	38.68
軽油使用量	総量	(ℓ)	45,131	43,900	43,750	43,600
	原単位	(ℓ/百万円)	116.92	115.53	115.13	114.74
LPG使用量	総量	(kg)	2,495	2,320	2,300	2,280
	原単位	(kg/百万円)	6.46	6.11	6.05	6.00
電力使用量	総量	(kWh)	23,708	19,700	19,550	19,400
	原単位	(kWh/百万円)	61.42	51.84	51.45	51.05
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	172,890	164,960	164,317	163,675
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	447.90	434.10	432.41	430.72
水使用量	総量	(m ³)	371	344	340	336
	原単位	(m ³ /百万円)	0.96	0.91	0.89	0.88
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	272	254	250	246
	原単位	(kg/百万円)	0.70	0.67	0.66	0.65
産業廃棄物排出量	総量	(t)	5,810	5,540	5,500	5,460
	原単位	(t/百万円)	15.05	14.58	14.47	14.37
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100.00	99.90	99.90	99.90
環境配慮工事	総量	(件)	221/221	全件	全件	全件
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	11

(2) 環境経営活動計画

期間： 令和6年10月 ～ 令和7年9月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○現場への車両乗合を励行する	福重 佳助	令和7年9月30日
		○建設機械の事前事後の点検整備を怠りなく行う	杉村 二郎	令和7年9月30日
		○建設現場の作業規模に応じた建設機械の種類、規格を選定しエネルギー使用量を抑える		
		○建設副産物、資材等の運搬経路を見直し運搬、輸送距離の短縮を図る		
		○タイヤの空気圧を定期的に確認し適正値を保つ		
	電力使用量 削減	○パソコン、コピー機等OA機器を省電力設定にする	葛目 朱美	令和7年9月30日
		○使用頻度の少ない倉庫、トイレ等の照明は使用時のみ点灯する		
		○節電ステッカーを貼り注意喚起		
		○昼休み、退社時消灯の徹底		
用水使用量削減 (排水量削減)		○建設機械等の洗車時は先に泥など落としてから行落としてから行う	小松 孝宏	令和7年9月30日
		○舗装工事の舗設で使用する散水はできる限り用水路などの水を利用する		
		○節水の徹底、漏水の定期点検		
廃棄物削減	一般廃棄物	○両面、集約コピーを心掛ける	小松 孝宏	令和7年9月30日
		○できる限りの帳票類、書類など紙ベースを見直し文書類の電子化に取り組む		
		○ごみの分別を徹底する		
		○コピー用紙の裏紙再利用の徹底		
	産業廃棄物	○運搬・処分委託契約書を必ず交わす	福重 佳助	令和7年9月30日
		○処分場の許可、現地の状況を確認する		
		○マニフェスト伝票の管理、保管、適正処理の確認		
		○再生砕石の利用促進		
		○再生アスファルトの利用促進		
		○建設資材発注時に使用量を再チェックし 残余資材の廃棄抑制に努める		
環境配慮工事		○型枠、工事看板への間伐材使用	福重 佳士	令和7年9月30日
		○低騒音、排出ガス対策型機械の併用		
		○環境に配慮した技術の導入、提案、負荷が少ない材料の使用を推進し、現場施工に努める		
環境美化活動		○ロードボランティアに活動に参加	福重 佳助	令和7年9月30日
		○事務所、現場周辺の清掃活動		

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
	第12条の9、10項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第5条	○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 ○簡易点検の実施	1回／3ヶ月	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	総務部門	○	令和6年10月14日

環境関連法規等の取りまとめ表
（条例）

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日
南国市環境基本条例	第5条 第28条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 ○事業者の地球環境保全への取組	必要時	環境管理責任者	○	令和6年10月14日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和5年10月1日より令和6年9月30日迄、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

12.代表者による全体評価及び見直し・指示の結果

見直しに必要な情報（環境管理責任者からの報告）			
前回指示への取組結果 完成工事高は528百万円で基準年（386百万円）と比較して36%増、施工件数は基準年221件に対し191件で86%に減少した。 環境経営目標については全ての目標値で目標の達成ができた。 達成できた要因としては、施工場所が高知市内とその周辺市町村で本社、南国営業所付近が多く移動距離が短かった。 施工内容はアスファルト打換え工よりもアスファルト切削（外注）とオーバーレイ工の現場が多く、アスファルト新設工事の現場もあった事でガソリン、軽油、LPG、の使用量が目標達成でき、それに伴いCO₂の排出量も達成できた。 一般廃棄物、産業廃棄物排出量については総量、原単位ともに達成できている。 昨期達成に至らなかった産業廃棄物再資源化率については最終処分が昨期（4310kg）今期（2570kg）と減少した事と総排出量が昨期（2260530kg）今期（3014660kg）と増加した事で総発生量に対し最終処分発生量が少なかった為達成できた。 水使用量については完成工事高の増加に伴い舗装面積も増加したが散水用の水を現地調達でる現場が例年よりあったので昨期と比較しても水使用量は減少し目標達成できた。 電力使用量に関しては昨期よりも一層酷暑で長期に渡り暑さが長引いた事もありエアコン使用時間も長くなり電気使用量も増加したが日頃からの節電意識が徹底できている事もあり効果的に節電出来た為目標達成できた。 一般廃棄物、産業廃棄物ともに適正に処理されている。 前回までの代表者の指示事項への対応は社内コミュニケーションをもって環境経営方針、環境経営目標・環境経営計画、総括での指示に対し今期間内活動を推進した。			
環境経営目標達成状況及び環境経営計画取組状況			
項目	環境経営目標達成状況	環境経営計画状況	コメント
化石燃料使用量	○	○	達成できている。継続して取組む。
電力使用量	○	○	達成できている。継続して取組む。
CO ₂ 排出量	○	○	達成できている。継続して取組む。
水使用量	○	○	達成できている。継続して取組む。
一般廃棄物排出量	○	○	達成できている。継続して取組む。
産業廃棄物排出量	○	○	達成できている。継続して取組む。
産業廃棄物再資源化率	○	○	達成できている。継続して取組む。
環境配慮工事	○	○	達成できている。継続して取組む。
環境美化活動	○	○	達成できている。継続して取組む。
環境関連法規等遵守状況		☒ 遵守した。	環境経営システム変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無
外部からの環境に関する苦情や要望		☒ 苦情はない。 ☐ 苦情があった。その内	総括及び指示 本年度は昨年度と比較し完成工事高が増え施工件数は減少し1件あたりの工事高が高い現場が多かった。 施工場所も本社・営業所周辺が中心で移動距離が短かった。 工法的にもアスファルト打換え工よりアスファルト切削（外注）とオーバーレイ工が多くアスファルト新設の現場もあった。 また一部外注した現場もあり本年度の環境経営目標はすべての目標値で達成に至っている。 来年度も達成できるよう心掛ける事。 環境教育、社内コミュニケーションを通じ環境への意識、取組をより活性化すること。 エコアクション21はシステムとして有効に機能している。
代表者自ら得た情報			
代表者による見直し 変更の必要性の有無・指示事項			
環境経営方針変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無			
コメント 平成30年10月改定の環境経営理念、環境経営方針に沿った活動の継続をすること。			
環境経営目標・環境経営活動計画・環境管理組織体制変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無			
コメント 現行の環境管理組織体制で次年度の環境経営活動計画を適切に実施し環境経営目標の達成目指して継続すること。			